

第36回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭 種目別大会実施要項（案）

モルック

1. 期 日 令和8年11月15日（日）受 付 午前9時00分～
開会式 午前9時30分
2. 会 場 鳥栖市民公園第1運動広場
※鳥栖市民体育館（鳥栖市宿町926番地）前のグラウンド

3. 参加人数・構成

代表者	小学生以上	参 加 チーム数	参加者 合 計
	男女混合		
1名	2～4名	16チーム	32～64名

- (1) 代表者は選手を兼ねることができる。但し、代表者が選手として出場する場合は、選手名簿にも必ず氏名を記載すること。
- (2) チームに1名は大人（20歳以上）を入れること。小学生のみのチームは不可。
- (3) 参加チームは、各市町4チームとする。

4. 実施上の規則及び競技規則

- (1) 実施規則
日本モルック協会の現行「モルックの基本ルール」を準用とする。
一部ルールのみクロスロード版ローカルルールを採用する。
- (2) 競技方法
- ① 4チーム（4パート）によるリーグ戦を行う。
 - ② パートごとに2ゲームずつの総当たり戦を行う（3試合6ゲーム）。
 - ③ 1ゲームの制限時間は25分とする。ただし、準決勝以降は1ゲーム30分とする。
 - ④ 1ゲームは50点先取した方が勝ちとなる。制限時間内に終わらなかった場合、終了時点の総得点が多いチームが勝ちとなる。
 - ⑤ 1ゲームは、50点勝利で5点、点数勝利で3点、引き分けで1点、負けで0点とし、6ゲーム終了時点での勝ち点でリーグの順位を決める。
順位付けの優先順は、勝ち点、勝利数、50点での勝利数、抽選とする。
上記で決まらない場合はモルックアウトで決定する。
 - ⑥ 登録選手は、特別な事情がない限り必ず競技に参加するものとする。
 - ⑦ 競技用具は、主催が準備したものを使用するものとする。

5. 表 彰

各リーグ上位1チームを表彰する。

6. 参加上の注意

- (1) ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。
- (2) 背番号及び胸番号は、主催者が準備したものを着用すること。
- (3) 決勝戦以外は審判無しのセルフジャッジ、出場チーム同士が協力すること。
- (4) 決勝戦では、審判の指示に従い、スムーズな進行に協力すること。

クロスロード版モルック

1. 概要

モルックを投げて倒れたスキットルの内容によって得点が決まり、総得点が 50 点ちょうどになるように競う。

2. 要項

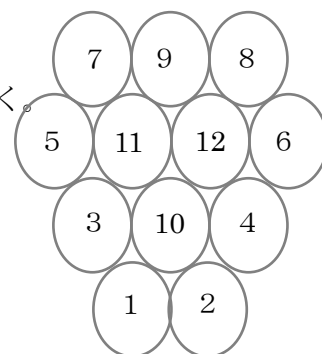
(1) 基本ルール

縦 12 × 横 6 m コートで行い、モルックの投擲地点にモルッカーリを置く。モルッカーリから 3.5 メートル離れたところにスキットルを右のように配置する。

1 本のスキットルが倒れれば、そのスキットルに書かれた数字が点数となり、複数本倒れれば倒れた本数が点数となる。

スキットルは倒れた地点にまた立てられる。(徐々に場所が変わる)

投擲時にモルッカーリに触れる・踏み越えると 0 点となり、その投擲では得点されない。



(2) チーム

小学生以上の男女混合 2 名以上～4 名で構成する。

登録選手は、特別な事情がない限り必ず投擲順に加わること。

(3) 投擲順

「ジャンケン」による勝者が先攻・後攻を決める。

チームの投擲順をきめ、先攻 1 番手→後攻 1 番手→先攻 2 番手→後攻 2 番手…の順で投擲していく。

(4) 勝利条件

競技は、1 セット 50 点先取した方の勝ちとする。

総得点が 50 点を超えた場合、25 点に戻る。

(5) 失格

3 回連続ミス (1 本もスキットルが倒せない) した場合は、大会特別ルールとして失格にはならず、そのセットの得点を 0 点にして再スタートできる。

ただし、準決勝及び決勝戦に関しては 3 回連続ミスで失格になる公式ルールを採用する。

(6) その他

他の詳細ルールに関しては、「JMA モルックの基本ルール」に準ずるものとする。

第36回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭
種目別大会実施要項（案）

ラージボール卓球

1. 期 日 令和8年11月15日（日） 受付 午前8時30分
開会式 午前9時00分

2. 会 場 基山町総合体育館（三養基郡基山町大字宮浦 666 番地）

3. 参加人数・構成

監督	35才以上				参加 チーム数	参加者 合計
	男	女	ダブルス	交代員		
1	2	2	2（1組）	1	12	96

（1）監督は選手を兼ねることができる。但し、監督が選手として出場する場合は、選手名簿にも必ず氏名を記載すること。

チーム編成は、男子2人、女子2人及びミックスダブルス選手2人とする。但し、ミックスダブルスについては、女子ペアでの参加を認める。

（2）選手はシングルスとミックスダブルスに重複して出場できない。なお、重複して出場する場合、当該チームはオープン参加とする。また、交代員については性別を問わない。

（3）参加チームは、各市町3チームとする。

4. 実施上の規則及び競技規則

（1）実施規則

日本卓球協会の現行「ラージボール卓球競技ルール」を準用する。

（2）競技方法

① 4チーム（3パート）によるリーグ戦とする。

② 1マッチ3ゲームとし、2ゲーム先取した方を勝ちとする。

③ 1ゲームは、11点先取した方が勝ちとなる。

双方の得点が10対10になった場合は、2点差がつくまでゲームを行う。

④ 4人のシングルスと1組のミックスダブルスによる対抗戦とし、3勝しても最後まで行う。

⑤ 試合順は、男子→女子→ミックスダブルス→男子→女子とする。

⑥ 勝敗が同じになった場合の順位決定は、日本卓球協会の現行「ラージボール卓球競技ルール」を準用する

⑦ 記録は、2人1組（相互審判）で行う。

⑧ 各試合前に選手の変更を認める。

⑨ 試合球は主催者が準備した物（試合球はニッタク）を使用するものとする。

5. 表彰

パート上位2位までを表彰する。

6. 参加上の注意

（1）ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。

（2）ラケットは参加者が持参すること。

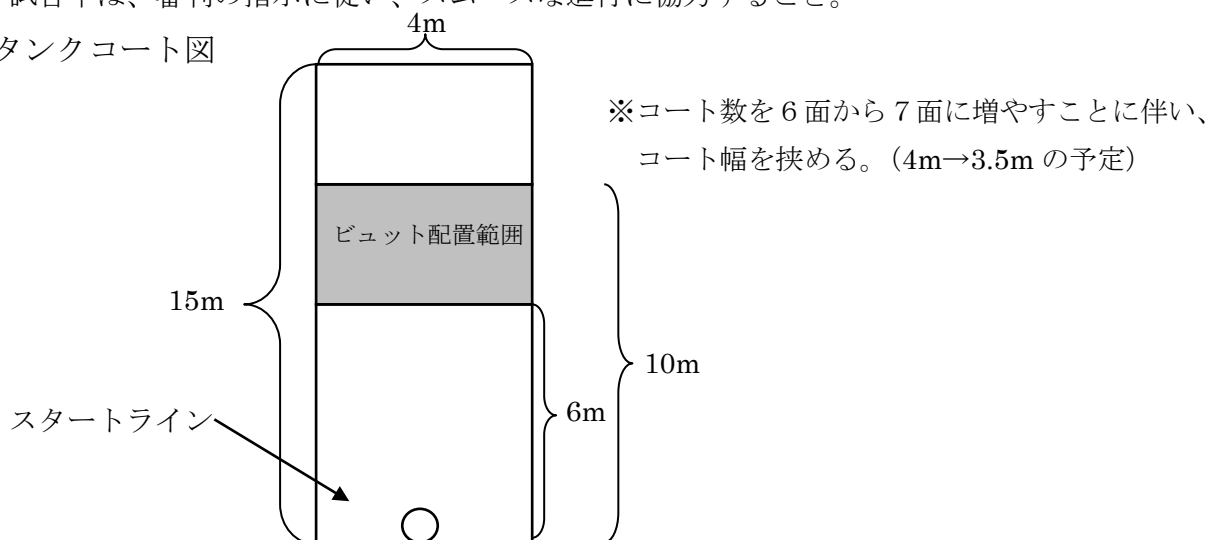
（3）試合中は、審判の指示に従い、スムーズな進行に協力すること。

第36回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭
種目別大会実施要項（案）

室内ペタンク（ニチレクボール）

1. 期 日 令和8年11月8日（日） 受付 午前8時30分
開会式 午前9時00分
2. 会 場 小郡市体育館 （小郡市大板井279番地1）
3. 参加人数・構成
- （1）チーム編成は、1チーム3人～6人までとする。（年齢性別は問わない）
 - （2）参加チームは、各市町5チームとパラチーム各市町2チームとする。
 - （3）監督は選手を兼ねることができる。但し、監督が選手として出場する場合は、選手名簿にも必ず氏名を記載すること。
4. 実施上の規則及び競技規則
- （1）実施規則
 - ① 公益社団法人日本ペタンク・ブル協會の制定「ペタンク競技規則」を準用する。
 - ② コートは4m×15mとする。投球サークルは、コート内のスタートライン中央に接するように配置する。
 - ③ ビュットは、スタート地点のサークル内から6mから10mの範囲内に投げることとする。ただし、ビュットが6m以下または10m以上で止まったときは無効とし、相手チームが任意の箇所にビュットを置くこととする。
 - ④ ボールの投げ方は自由とする。
 - ⑤ 対戦方式は、3人対3人のトリプルス戦とし、1人の持ちボールは2個とする。
 - ⑥ 試合中の選手の交代は認めない。
 - （2）競技方法
 - ① 試合は、5メース終了時の総得点で勝敗を決める。
 - ② 4チーム（5パート）によるリーグ戦を行う。第6・第7パートを新設し、パラチームが使用する。
 - ③ 各パートの順位は、勝率、得失点差、当該チームの対戦成績の順で決定する。
 - ④ 1セットの投球数は、1人2投とする。
5. 表 彰 パート上位2チームまでを表彰する。
6. 参加上の注意
- （1）ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。
 - （2）試合中は、審判の指示に従い、スムーズな進行に協力すること。

ペタンクコート図



第36回クロスロードスポーツ・レクリエーション祭
種目別大会実施要項（案）

スポンジテニス

1. 期 日 令和8年11月22日（日） 受付 午前8時30分
開会式 午前9時00分
2. 会 場 久留米市みづま総合体育館（久留米市三潆町玉満2593-1）

3. 参加人数・構成

監督	男	女	交代員	参加 チーム数	参加者合計
1	2	2	2	16	112

- (1) 監督は選手を兼ねることができる。但し、監督が選手として出場する場合は、選手名簿にも必ず氏名を記載すること。
- (2) チーム編成は、1チーム4人～7人までとする。（年齢は問わない）
- (3) 参加チームは、各市町4チームとする。
- (4) 種目を2クラスとする。
①オープンクラス（年齢無制限）
②シニアクラス（60歳以上）
＊各クラスの参加チーム数の上下限は設けない。
例）A市→オープン1チーム、シニア3チーム OK
B町→オープン4チーム、シニア0チーム OK
（申し込み状況で偏りが著しい場合は、種目変更の依頼をする場合があります。）

4. 実施上の規則及び競技規則

- (1) 実施規則
クロスロード版・スポンジテニスルールによる。
- (2) 競技方法（申し込み状況により変更になる可能性があります。）
① 4チーム（4パート）によるリーグ戦を行う。
② 試合出場はミックスダブルス（男女混合）もしくは女子ダブルスとする。
③ 試合は1セット15点先取とし、2セット行う。
- (3) パートの順位の決定
勝敗（○勝×敗△分）、セット数、得失点差、代表によるジャンケン1回の順で決定する。
- (4) 用具
競技に使用するラケットの長さは「55cm」以下とする。

5. 表 彰 各パート上位2チームまでを表彰する。
（申し込み状況により変更になる可能性があります。）

6. 参加上の注意

- (1) ユニフォーム等については原則として定めない。
- (2) 試合中は、審判の指示に従い、スムーズな進行に協力すること。
- (3) 試合球は直径7.8cm（令和6年度大会は9cm）を使用します。事前に事務局で貸し出しをしますので練習で必要な場合はお申し出ください。

クロスロード版・スポンジテニスルール

- 用 具：Jr 用テニスラケット（長さ 55 c m以下）
- ボ ー ル：スポンジボール（直径 7.8cm のボールを使用する）
- 服 装：汗を吸収しやすいもの
- シューズ：室内用運動靴
- コ ー ト：バドミントンコート（ダブルスコート・13.4m×6.1m）
- ネ ッ ト：バドミントンネット
- 高 さ：バドミントンネット幅を参考に（床より 80 c m）

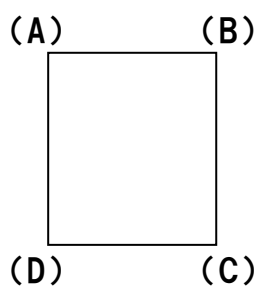
持ち方・打ち方は基本的には自由 ※ただし、サーブはノーバウンドで行う
[おもな打ち方]

- ・ワンバウンドで打つ = グランドストローク（フォアハンド・バックハンド）
- ・ノーバウンドで打つ = ボレー（フォアハンド・バックハンド）
- ・高いボールを打つ = スマッシュ
- ・ゲームのはじめ = サーブ（オーバーサーブ・アンダーサーブ）

ルール（初級者用）

- ① サーブはコートの対角に入れる
- ② オーバーサーブ・横打ちはコートの後ろから、アンダーサーブは前（コート内ショートサーブライン手前以内）から、ショートサーブラインより後方に入れる。
- ③ サーブは右から1回、左から1回。それぞれ2度のチャンス（ファーストサーブ、セカンドサーブ）
- ④ サーブの順番はジャンケンで（AB対CDならば、A⇒C⇒B⇒Dとなります）別図参照
- ⑤ レシーブは必ずワンバウンドしてから打つ
- ⑥ レシーブは右側・左側を2人で決め、そのゲームの間交替は不可
- ⑦ 点数は15点先取制。1チーム2セット。
- ⑧ はじまりはジャンケンでサーブ・レシーブ・場所を選択する試合の方法
 - ア) リーグ戦（1パート4チーム・4パート）別表参照
 - イ) 各チームミックス（男女混合）2組つくる。
 - ウ) 勝敗の決定について
 - チーム同士の対戦では・・・1セット15点とし2セット行う。
1セットずつ取り合った場合は引き分けとする。
 - リーグ内での対戦では・・・①勝敗（○勝×敗△分）②得セット数③得失点差
④代表によるジャンケン1回

○ サ ー ブ の 順 番 図



選手4名が始めにこの位置にいるとすると

